

県i-Con  
推進連絡会

円滑普及へ発足

国、県、協会など一堂会し

国土交通省関東地方整備局の県内5出先事務所、県、群馬県建設業協会、群馬県測量設計業協会、水資源機構群馬用水管理所が参加する群馬県i-Construction推進連絡会が3日、高崎市内の国土交通省高崎河川国道事務所で発足した。同会は、発注者と受注者が情報交換や意見交換を行い、群馬県内でのICTの円滑な普及を図ることが目的。県内の取り組み状況や群馬県建設業協会と群馬県測量設計業協会が実施したICT活用に関するアンケート調査の結果が公表され、活発に意見交換を行った。

群馬県建設業協会によるアンケートは、県内268社が回答。ICT活用施工についての関心を経営者、技術者の立場の両面から返答を求め、経営者で86%、技術者で88%が関心を持っているという結果となり、完工

ICT活用施工を条件とした発注への対応は「自社の規模や通例の受注工事ではICT活用工事はなじまない」といった消極的な意見が60%を占め、積極的な意見では「ICT活用施工で増額する経費を発注者が負担するならば参加する」が23%、「経費は増加し

のアンケートは、35社が回答。77%がICTへの導入に関する率を42%とした。ICTの積極的な導入については54%が「ある」としたが、5%が「ない」、37%が分かる

群馬県建設業協会が実施したアンケート調査結果について青柳剛会長は「アンケートは96%が回答しており、生産性向上に対する問題意識が高いことを表している。これからICT施工を定着させるには、研修や講習に参加しやすい環境をつくっていくことが重要となる」と話した。

高が多くなるにつれて関心を持つ割合が多くなっていく。ICT活用施工に関するこれまでの取り組み状況は、29社がICT活用施工の実績があったほか、講習会や見学会への参加については120社が参加している。

群馬県測量設計業協会

群馬県測量設計業協会

群馬県測量設計業協会

群馬県測量設計業協会